

みえDOYU

2009年度 緊急テーマ

同友会型企業作りで積極的生き残りを

VOL 303 2010.2.1

広報責任者 水谷彰宏

〒510-0066

四日市市南浜田町 2-14

水谷ビル3F

TEL 059(351)3310

FAX 059(351)9362

<http://www.mie.doyu.jp/> E-mail mie-doyu@cty-net.ne.jp

時代の大変化の中で新たな思考・行動に踏み出す機会に ～ 第28回定時総会記念講演の概要決まる～

これまでの経済構造の崩壊が形を変え時間を置いて全ての企業に影響がはじめています。一部の企業では大幅な落込みからの在庫調整が一段落し生産が戻りつつありますが、全体的に消費者の消費意欲が冷え込んで市場が縮小しています。景気刺激策に後押しされた回復だけでなく今後の動向をしっかりと見定め、既存の考え方や枠組みに捉われず変化に対応するためには何をすべきか考え行動することが求められます。

また、次年度の活動テーマは『次の時代に向けた変化の一步を踏み出そう!』とし、時代やパラダイムが大きく変化している中で、これから生き残っていくためにも事業に限らず、新たな思考や行動を経営者自らが率先垂範して取り組む変革の一步を踏み出す機会にする総会とします。

講師にはあらゆる環境がすでに変化していることを認識すべく一例としてインターネットの世界がどれほど変化しているか、また変化に対応するためにインターネットの活用を選び、新たな行動を起こし、市場を切り拓いている経営者と共に活動されている(有)アイ・リンク・コンサルタント代表取締役の加藤忠宏氏をお招きし講演いただきます。

すでに大きな変化に巻き込まれている中で、どの企業や業界も今までとは違った新たな考え方で変化を捉え事業計画を見直し、新たな経営戦略を立てていかなければなりません。今回の総会を通して皆様や企業の新たな時代に向けて踏み出す一步を考えるきっかけとしていただきたいと思います。

会員の皆様にはお忙しいとは存じますが、今からご予約頂きますようお願いいたします。

第28回定時総会

1、開催日程

日時 平成22年4月23日(金)

13:30～18:40

(受付13:00～)

会場 鳥羽国際ホテル

参加費 総会・記念講演 無料

記念パーティー 6,000円

2、総会内容

第1部 第28回定時総会

(13:30～15:00)

第2部 記念講演

(15:10～17:00)

「環境変化を認識し、

新たな変革へ踏み出す(仮)」

～インターネットを活用した経営革新～

講師：加藤 忠宏氏

(有)アイ・リンク・コンサルタント 代表取締役

第3部 記念パーティー

(17:10～18:40)

支部例会だより

南勢支部 1月新年例会報告

テーマ 『2010年経済の展望と経営課題』

～ 新年例会 ～

報告者 石川 裕史氏

(有) IMC経営センター 代表取締役



(石川氏)

いつも「エコノミスト」「ダイヤモンド」「東洋経済」「日経ビジネス」等膨大な資料をもとに、今年一年間の経済展望と課題をとても分かりやすくまとめていただいている、毎年の事ながら関心させられます。

我々の経営に影響を及ぼす今年一年間に起こることが、年間スケジュールとして

わかりやすくまとめてもらっているのですが、確実に起こることをもとに経済学者や評論家がいろいろな予想をして、それが当たるか外れるかに関心を寄せる人が多いのですが、私たちにとって大事なことは“自分ならばこう考え、こう経営に生かす”と自分の頭で考えて自分で判断することだと思います。

結果から言うと、今年どうなるかということは誰にも分からないということ、ただ確実にいえることは民主党政権になって企業に対しては逆風が吹いて厳しい一年になるであろうということ。しかしこれにしても皆平等にあたえられた経営環境なので、我々が環境に合わせて変化するしかないのです。まさに「進化論」の“生き残るのは大きくて強いものではなく、環境に適応できたものである”があてはまるでしょう。

同友会の目的の中に「良い経営環境を作ろう」というのがありますが、本気で経営環境を変えようとするなら日本の首相にならなくてははいけません。首相になる努力をするくらいなら環境にあわせて自分で会社の体質を変えるほうが楽なのです。

従って今年は、「悩んでも解決しないことは悩まない」「グチてもしょうがないことはグチらない」ようにしようと心に決めました。「他人と過去は変えられない、変えられるのは自分と未来だけ」なのです。

大王運輸(株) 天白拓治

中勢支部 1月例会報告

テーマ 『パラダイムシフトの中で

生き残る企業戦略と事業継承』

報告者 榊 宏之氏

(株)サカキ L&Eワイズ 代表取締役



(榊氏)

中勢支部 1月例会は急遽の代役を快く引き受けていただいた株式会社サカキL&Eワイズの榊社長にご報告いただきました。

会社を継ぐために東京から戻られた時はお客も売り上げもゼロ、借金は一億円という状態からのスタートでした。

当時は貸倉庫業中心で借り手が抜けると収入が無かったそうです。そこでただ預かるのではなく営業倉庫として付加価値をつけるため何ができるのかを考えました。その結果、預かった商品の組み立てや小分け、お客様の物流のサポート、オンラインによる在庫管理などのシステムの提供等を行うことにより差別化をはかり危機をのりきったそうです。

「うちはサービス業なので自社の目先の損得ではなくお客様が伸びたら自社は勝手に伸びる、だからお客様を応援すればいいだけ」と榊社長は語ります。食品メーカーの荷物を預かれば廃棄物がでる、ならば自らが産廃の資格を取り、安くサービスをしよう。そのような形で除々にお客様のコスト削減に役立つ事は全て自社ですようになり、それに伴い事業内容も広がっていったそうです。

現在は医療機器製造販売業の資格も取り社長自身、三重大学大学院に通いながら新製品の開発をされているそうです。

お客様を起点にして考えることによって時代ととも



にも会社を変革していった榊さんの講演にこの厳しい時代を乗り切るためのヒントをいただいた例会でした。

(名) 太田商店
太田 振一郎

委員会だより

経営者の共育ち委員会 新春特別記念講演会

『ゼロから中国No1企業を

目指す情熱的経営』

～私を支えるベンチャーマインドを語る～

講師 越智 博通氏

北京陸通印刷有限公司 董事長



(越智氏)

同友会に参加させていただき間もない私ではございますが、事務局のご依頼並びにご厚意によりコメントさせていただきます。

人が職業を通じて人生を選択し歩む道には、その根源となるものが親族より受け継がれてきたものなのか、会社・組織に属したことによって得た情報・経験・人脈・技術を生

かすことによってなし得たものか、もしくは、なにもない無の状況より情熱と創造によって生み出されたものなのか、それらの状況によって人が歩む速度や険しさ困難さ、そして、それに伴う広がり・局面での結果・成果は多種多様であると思います。

短時間のお話で越智さんがご尽力されてこられた歩みは何もわかりませんが、私なりに感じた事は、大半の人がまだ理解できなかった時に中国の可能性を理解し、尚且つどのような困難があろうとも決して諦めずに歩んでこられた強靱な意志ではないかと感じました。また、経営者として事業の厳しさ、難しさを再度認識すると共に私に新たな決意ももたらしてくださいました。

越智さんもやはりそうでしたが、私には、大切な人に伝えてもらった Spirit があります。

それは What's stopping you.

日を増すごとに国内の情勢は悪化しておりますが、どのような厳しい局面に立とうとも、この言葉を胸に皆さんと共に成長・発展できるよう歩んでまいり

たいと願っております。どうぞ宜しくお願い致します。

(株)タックブリッジ
文田 勝士



経営労務委員会

賃金・退職金見直しセミナー

～いかに仕事の内容にあった評価基準をつくるか～

今回のセミナーは中小企業の本当に企業の業績や労働内容の現状に則した賃金・賞与・退職金の仕組みを作成するために行います。厳しい現状を生き残るためにも社員も納得できる体系を作成するためにもぜひご参加下さい。

実施要項

日時：3月4日(木) 14:00～17:00

場所：同友会事務所 4F 会議室

講師：加藤徳夫氏

加藤労務事務所 代表

愛知同友会経営労働副委員長

定員：20名

参加費：3,000円

詳細は同封のチラシをご覧ください。

採用に役立つ事業のご案内

三重同友会では、会員の皆様にご利用頂ける採用の際に役立つ様々なサービス業務を行っています。ぜひご利用下さいますようご案内いたします。

知的能力診断テスト

知的能力診断テストでは求職者の知的な力、主に創造力や物事の理解力、応用力を診断します。検査の結果からは言語理解力や推理力、表現力といった事がわかります。求職者の持っている能力や資質を判断するのに最適です。

検査料 1人 1,200円(用紙、検査料)
(共同求人研究会参加者は、800円)

詳しくは、同友会事務局までお問い合わせ下さい。TEL 059(351)3310

業務適性診断テスト

業務適性診断テストでは「はい」「いいえ」で答える設問から、求職者の外面に現れる性格と内面の性格を見るものです。検査結果からはどのような仕事に向いているかがわかり、特に採用時に面接だけではわかりにくい点を判断する材料として最適です。

検査料 1人 1,400円(用紙、検査料)
(共同求人研究会参加者は、1,000円)

「私と同友会」

(株)クラユニコーポレーション 倉田伸雄



(倉田氏)

このところ、同友会ともご無沙汰していました。安藤事務局員からの急な依頼でこの原稿を書くことになりました。思えば、同友会とのお付き合いも二十五年になります。中勢支部も創設時は十人程度で津ヨットハーバーの一室で弁当を摂りながら熱い思いで参加していた頃を懐かしく思います。入会前は他会に入っておりましたが、仕事よりも優先！という発想に馴染めず、三年足らずで退会し、穴熊経営者ではイケナイと思っていたところにちょうど良い会が発足しました。それ以来、乾いた砂が水を吸収するように学んだことを自社に導入させていただきました。社員教育・共同求人・経営指針作成・社内一泊研修や公私のけじめのつけ方など。

CI(コーポレートアイデンティティ)を導入し

て社名変更や社内改革を行なったときは、高橋前事務局長に乗せられて、高山や仙台に行って報告者を引き受けたことも今思えば冷や汗ものです。ただ、その間、自分なりにこだわるところがありました。それは「我々はあくまで実務家である」ということを忘れてはならないということです。

世の中には仕事にかこつけていろいろな会合やセミナー、勉強会があります。それらに参加することは大事ですが、あくまで勉強したことを自社に取り入れなければ何の役にも立ちません。同友会は民主的な会です。しかし、一方では「冷たい会」です。他会のように欠席して指導を受けたり、企業規模や年齢・入会歴で上下関係が有ったりはしません。しかし、受身で居ては何のメリットもない会でもあります。自分から積極的に参加してこそ役に立つ会だと思います。誰も強制してくれません。さらに、支部だけでなく県や全国の行事に参加してこそいろいろな情報が得られます。

とはいうものの、最近の自分は少々、勉強に食傷気味になっていたところで、謙虚さを忘れていたかもしれません。今回を機にもう一度、初心に帰ろうかと思えます。三重同友会も会員・事務局共に第二世代に移ろうとしています。隠居気分は捨てて、もう一度、世代交代を見守ろうと思いませんか？ 第一世代の皆さん。

〈下津醤油の変化〉

下津醤油(株) 下津浩嗣

「地域のイベントで自社製品を販売する」という工場長の提案から始まった活動が、今年で四年目になり、今まで多くのイベントに参加しました。個人客の醤油を買う場所が酒屋から量販店に変わった四十年程前に、当社は家庭用中心の製品販売から業務用中心にシフトすることで、活路を開いてきました。

一方、五年ほど前に量販店には頼らず通販やインターネットの世界で売れる家庭用製品を開発し、将来に向けて一つの事業を立ち上げようと考えました。その為に社内会議で製品の種類やネーミングを決め、製品は完成したもののなかなか売れない状況下、地域での販売がスタートしました。

当初はお年寄りが「キューボシさん(下津醤油のブランド名)か、懐かしいな」と既に下津醤油は昔話になって

いたり、若い方はその存在すら知らない人ばかりでした。イベント参加を重ねるにつれて、「おいしかったよ」とまた買われていくお客さんや、「最近頑張ってるね」と声をかけられたりと徐々に知名度を上げることが出来ています。こうしたイベントでスタッフが直接お客様と触れ合うことが出来るのも非常に良い経験になると思います。一昨年の秋からは年に二回、工場内の感謝祭を開催し、毎回たくさんの方々が来社されます。

直営店を作ったことも含めて、地道な活動であり、これだけでは経営は成り立ちませんが、自社ブランド価値を上げることが、業務用商品の価値も上げることにつながると思っています。



各支部例会案内

桑名支部 3月例会

テーマ『下津醤油流！同友会からの“学び”で
積極的生き残りを実践中！』

日時 平成22年3月2日（火）
18：45～21：00

会場 桑名中央公民館

報告者 下津 浩嗣氏
下津醤油（株）代表取締役

本年度の同友会緊急テーマ「同友会型企業づくりで積極的生き残りを」を踏まえ、09年10月に新社長に就任された下津氏が実践されている報告を聞き、厳しい経営環境の中でどのような生き残り策を実践すれば良いかを考察します。

中勢支部 2月例会

テーマ このご時世、どう数字を捉えるか（その2）
『経営改善を考えるときの「財務表」の読み方』

日時 平成22年2月24日（水）
18：45～21：00

会場 アスト津 研修室A

講師 草深 英夫氏
センチュリー税理士法人 税理士・代表社員

経営改善実践のために「その2」として財務表に取り組みます。机上の空論ではなく、中勢支部長のご厚意により提供していただいた資料をもとに、財務表の分析と経営改善を考えます。そして、「財務諸表」「決算書」の疑問も解決していきます。

南勢支部 1月例会

テーマ『今こそ適財適所に PART
～人財把握～』

日時 平成22年2月16日（火）
19：00～21：00

会場 伊勢商工会議所 第三会議室

講師 太田 浩司氏
（株）ネオジオ 代表取締役社長

8月例会での太田講師の第2弾。エゴグラムにより詳しい分析・活用法を教えていただき、会社内での人財配置や個別指導方法の実践を伺います。社内のスムーズなコミュニケーションと意思統一の効率化を目的とします。

北勢支部 2月例会

テーマ
『下請け脱却作戦は、ブルーオーシャン！』
～コア技術は精密鑄造、商品も客層も売り方も全部変えた～

日時 平成22年2月24日（水）
18：30～21：00

（18：30～ 臨時総会）

会場 四日市農協会館 JAホール

報告者 錦見 泰郎氏
錦見鑄造（株）代表取締役

ブルーオーシャン戦略の身近な事例として工業用モーター部品製造から精密鑄造技術を応用した「魔法のフライパン」で新しい市場を切り拓いた錦見氏の戦略性とリーダーシップに学ぶ。

伊賀支部 2月例会

テーマ『出会いと学び』
～自らが変わることでもわりが変わる実践の取り組み～

日時 平成22年2月15日（月）
19：00～21：00

会場 伊賀上野交流研修センター

報告者 藤川 直紀氏
（有）アイディー 代表取締役

大手企業の下請けから、年々仕事が減る中で新たに人材派遣の業界へ業態転換してきた藤川氏ですが、規制が変わってくる中で、今新たな質の転換を図られています。これまでの取り組みとこれから目指しているビジョンを報告いただきます。

尾鷲・熊野グループ 3月例会

テーマ『未定』

日時 平成22年3月18日（木）
19：00～21：00

会場 サンプラザ

詳細が決まり次第、
ご案内させていただきます。

第10回理事会まとめ

1、各種報告事項

中同協幹事会及び中日本ブロック代表者会議(略)
第17回経営研究集会の報告について

今回の反省点と次回への申し送り事項として、以下の点が挙げられました。

- ・分科会の内容が核心に迫った内容となっており、入場者制限についての議論が上がってきたことは良い傾向であるが、改めて例会などの場を通じて、報告者と聞く側双方の守秘義務について確認していく必要がある。

次回研究集会については、北勢支部に担当して頂くことを申し合わせました。

2、正副代表理事会の報告について

次年度活動方針については、各支部からも基本的に賛同が得られたことを確認しました。

また次年度活動テーマについては、以下の通り承認されました。

22年度活動テーマ

『次の時代に向けた変化の一步を踏み出そう!』

～新しいこと始めてますか?～

活動テーマについては、時代やパラダイムが大きく変化している中で、これから生き残っていくためにも、事業だけに限らず、新たな思考や行動を経営者自らが率先垂範して取り組んでいくことが必要であり、そうした変化・革新を会員に呼び掛けていく意味での位置づけを申し合わせました。

3、第28回定時総会について

開催日程・会場を確認しました。また記念講演講師については、主管支部である南勢支部より講師案として中小企業診断士・システムアナリストの(有)アイ・リンク・コンサルタント 加藤忠宏氏の提案があり、審議の結果承認されました。内容についてはインターネット業界の変化だけでなく、活用を含めた企業変革の実践のお話しをお願いすることとしました。

第28回定時総会

日時 4月23日(金) 13:30～18:40

会場 鳥羽国際ホテル

記念講演講師 加藤忠宏氏

(有)アイ・リンク・コンサルタント 代表取締役

4、委員会の報告提案

総務委員会の報告について

- ・12月度月次決算、第3四半期特別会計、監査報告について報告されました。
- ・来賓招待については、総会・研究集会に関わらず今後も継続して行なっていくことを申し合わせました。
- ・また総会部分の内容について、これまで委員会の活動報告は各委員長が報告を行ってきましたが、第28回総会より代表理事が前年度の活動を総括して報告し、各委員長には方針について説明して頂くこととしました。

5、入会者の承認、前回理事会以降の活動報告(略)

新会員のご紹介(敬称略)

(21.12.17～22.1.21)

にしだ たろう
西田 太郎



(有)ホテル湯の本

三重郡菟野町大字菟野 8497

常務取締役

059(392)2141

業種 旅館業

北勢支部 紹介者:佐野明郎

わかばやし ただし
若林 忠

北勢電気(株)

四日市市平町 19番8号

取締役社長

059(365)3151

業種 電気設備・空気調和冷凍
冷蔵設備・省エネルギー
対策工事

北勢支部 紹介者:佐野明郎

いけばた ひろき
池畑 弘樹

池畑運送(株)

四日市市新正 3-12-3

代表取締役社長

059(353)7566

業種 一般貨物運送業

北勢支部 紹介者:天白拓治



